

青海千里洞調査報告

— 第1次～第5次調査 —

NO.2

1968



関西大学探検部

青海千里洞

藤 幸 星（藤原利幸）

青海・北アルプスの
峰の連なるマイコミ平
原生林の中に息づく千里洞

過去5年のアタックのプロセス
遂に見せた末踏の底

緑の原始林
真青な北陸の夏空
紫の岩スミレ
今なを残る白き雪渓

限りなく続く地への穴
我ら総てを賭け
石灰の白岩の廊下を
垂直の闇に消える
ワイヤの梯子を
ケイブ仲間のザイルをつけて降下する

地下60メートルの大雪渓
垂直70メートルの岩と滝
地下250メートルの巨大なホール
これら総て数億年の過程の刻

既存の想像を絶す
地底の世界
岩と水と寒さ、そして闇
大自然の創造主の偉大さよ



友の像 一朝倉文夫作一